絶対速度応答スペクトル距離減衰式の 改訂と第3回長周期地震動予測技術 検討WG提案式との比較

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

絶対速度応答スペクトル距離減衰式の改訂

絶対速度応答スペクトル距離減衰式について、第3回長周期地震動予測技術検討WGでの提案手法から解析条件を変更し、距離減衰式の改訂¹⁾を行った。ここでは第3回WG提案手法での旧式と改定後の新式についての比較を行う。

• 距離減衰式回帰手法

旧式:最小二乗法により回帰(誤差は ε_{ij} 1種類)。

$$\log Y_{ij} = c + aM_i - \log R_{ij} - bR_{ij} + \varepsilon_{ij}$$

観測記録を用いた観測点補正係数は誤差 ε_{ij} の平均値として求める

新式:2種類の誤差(地震間誤差 η_i と地震内誤差 ϵ_{ij})を仮定して最尤法により回帰

$$\log Y_{ij} = c + aM_i - \log R_{ij} - bR_{ij} + \eta_i + \varepsilon_{ij}$$

観測記録を用いた観測点補正係数は地震内誤差 ε_{ii} の平均値として求める

観測記録を用いない観測点補正係数

旧式: J-SHIS深部地盤構造モデルVs=1.4km/s層の深さ

新式: J-SHIS深部地盤構造モデルVs=1.4km/s層の深さとAVS30

利用した強震データ数

旧式:12,512

新式:12,401(移設が発生した観測点の取り扱いを修正)

1) Dhakal, Y. P., W. Suzuki, T. Kunugi, and S. Aoi (2015), Ground Motion Prediction Equations for Absolute Velocity Response Spectra (1-10 s) in Japan for Earthquake Early Warning, 日本地震工学会論文集, 15巻, 91-111ページ.

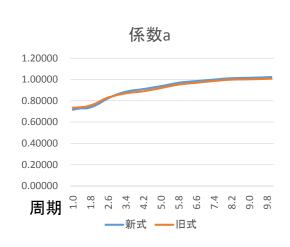
絶対速度応答スペクトル距離減衰式の改訂

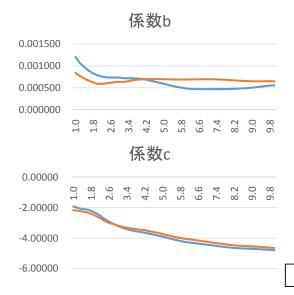
距離減衰式は旧式、新式とも式(1)で表される。

 $\log Y(T) = c(T) + a(T)M - \log R - b(T)R \tag{1}$

Y: 絶対速度応答値(cm/s)、M: 気象庁マグニチュード、R: 震源距離(km)、T: 周期(秒)

係数a、b、cの旧式と新式の比較





予測される長周期地震動階級の比較

距離減衰式の回帰に用いたデータ(36地震の防災科学技術研究所K-NETおよびKiK-net観測点におけるデータ)について、長周期地震動階級の予測が新式と旧式でどのような違いがあるかを確認した。

新式による予測値と観測値の比較

観測された階級 測された階級 731 10 0 0 0.905893 0.99873 732 2014 357 2 0 0.648631 0.999356 6 296 718 108 4 0.634276 0.991166 O 0 64 125 0.5 0.906238 0.662282 0.622184 0.516529 0.301075 0.807838 0.987002 0.991736 0.956989 0.997823

旧式による予測値と観測値の比較

観測された階級 された階級 7265 695 0 0 0.911658 0.998871 667 2128 346 2 0 0.67706 0.999364 1 250 102 5 0.669131 0.994455 O 0.477941 0 85 130 1 赢 11 0.915795 0.692483 0.621993 0.530612 0.360825 0.821771 1 0.992268 0.991837 0.948454 0.998641 Accuracy Accuracy +/-1 Precision(適合率):予測された階級が 観測された階級に適合した割合 Precision +/-1:予測された階級が観測 の±1以内の階級となった割合 Recall(再現率):観測された階級が予 測により再現された割合 Recall +/-1:観測された階級が±1以内 の階級として予測された割合 Accuracy(正解率):予測された階級と 観測された階級が一致した全体で の割合

Accuracy +/-1: 予測された階級と観測された階級が±1以内の階級で一致 した全体での割合

- 色つきセルでは予測された階級と 観測された階級が一致
- 色つきセルの右上のセルでは予測 が過小評価、左下のセルでは予測 が過大評価

1

まとめ

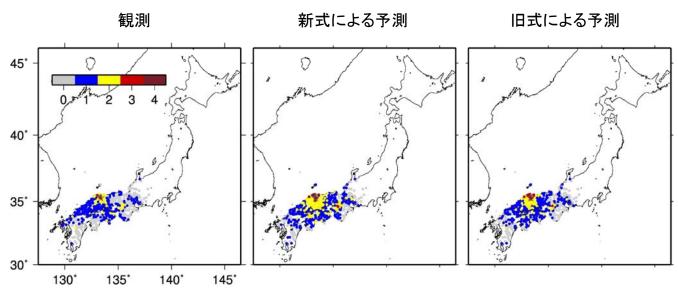
- 新式と旧式について回帰された係数および長周期地震動階級の予測 結果には多少の差異が見られた。この違いは回帰手法の違いにより 生じたものと考えられる。
- 距離減衰式の回帰に用いた全データに対する長周期地震動階級の予測の比較では、旧式による予測の正解率が新式よりも若干高かった。 階級1以内に予測された割合は両式とも99%以上となった。
- 新式の観測点補正係数は地震内誤差の平均値として求めており、震源特性の影響を受ける地震ごとのバラツキを除いているため、観測点でのサイト特性を旧式より適切に反映していると考えられる。

参考資料:個別の地震についての比較

- 距離減衰式の回帰に用いた地震のうち、K-NETおよびKiK-net観測点で 長周期地震動階級3以上が観測された19地震での、新式と旧式による 長周期地震動階級の予測結果を比較した。
- 予測と観測の比較の表の構成は4ページの表と同様とした。

5

2000/10/06 13:30 鳥取県西部地震(M_{IMA}7.4)



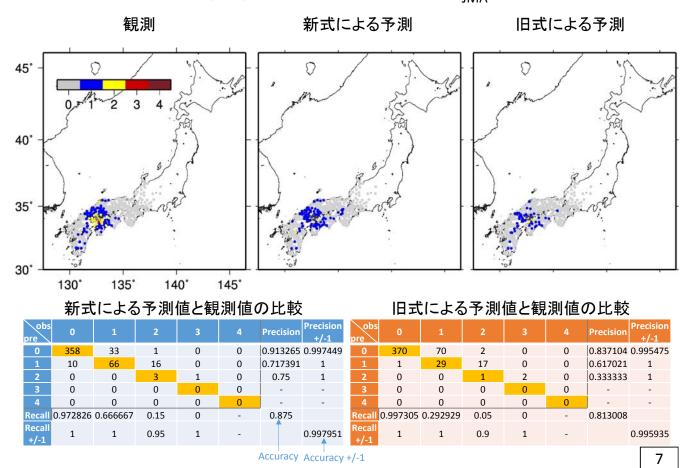
新式による予測値と観測値の比較

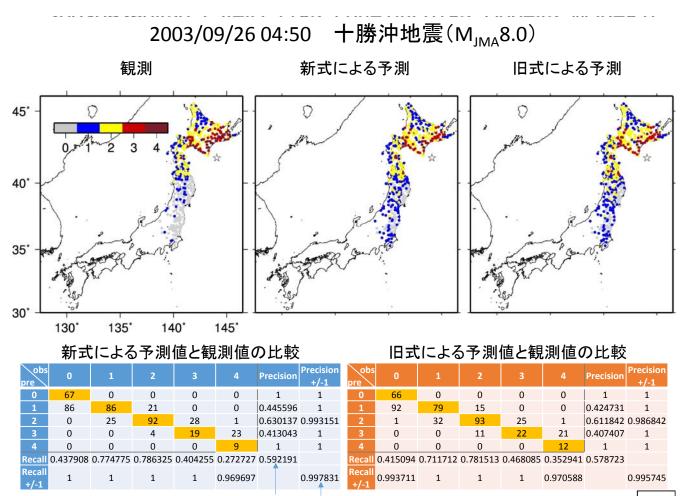
旧式による予測値と観測値の比較

| obs pre | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | Precision | Precision +/-1 | obs pre | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | Precision | Precision +/-1 |
|-------------|----------|----------|----------|---|---|-----------|----------------|----------------|---------|----------|----------|---|---|-----------|----------------|
| 0 | 84 | 14 | 0 | 0 | 0 | 0.857143 | 1 | 0 | 119 | 28 | 0 | 0 | 0 | 0.809524 | 1 |
| 1 | 85 | 117 | 1 | 0 | 0 | 0.576355 | 1 | 1 | 53 | 145 | 2 | 0 | 0 | 0.725 | 1 |
| 2 | 3 | 66 | 24 | 0 | 0 | 0.258065 | 0.967742 | 2 | 0 | 28 | 25 | 0 | 0 | 0.471698 | 1 |
| 3 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 9 | 2 | 0 | 0.181818 | 1 |
| 4 | 0 | 0 | 5 | 2 | 2 | 0.222222 | 0.444444 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 |
| Recall | 0.488372 | 0.593909 | 0.666667 | 0 | 1 | 0.555012 | | Recall | 0.69186 | 0.721393 | 0.694444 | 1 | 1 | 0.709443 | |
| Recall +/-1 | 0.982558 | 1 | 0.861111 | 1 | 1 | | 0.98044 | Recall +/-1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 |

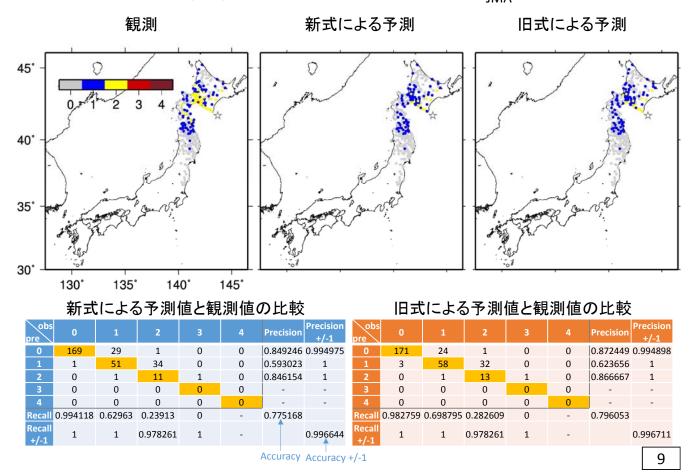
Accuracy Accuracy +/-1

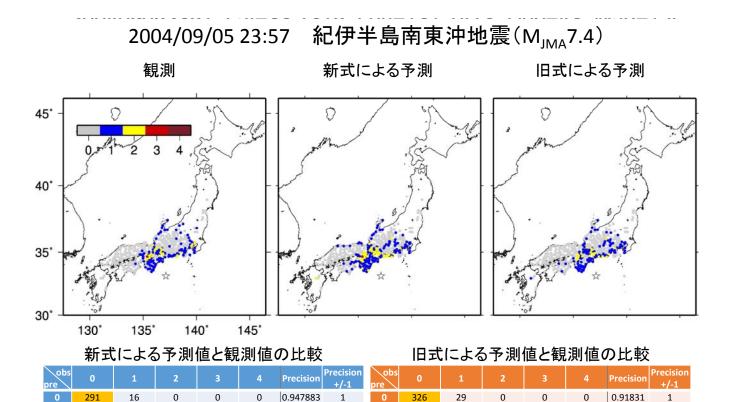
2001/03/24 15:28 芸予地震(M_{JMA}6.6)





2003/09/26 06:08 十勝沖の地震(M_{JMA}7.1)





26

0

0

0.926136 0.707317 0.551724

0.557047

0.444444 0.955556

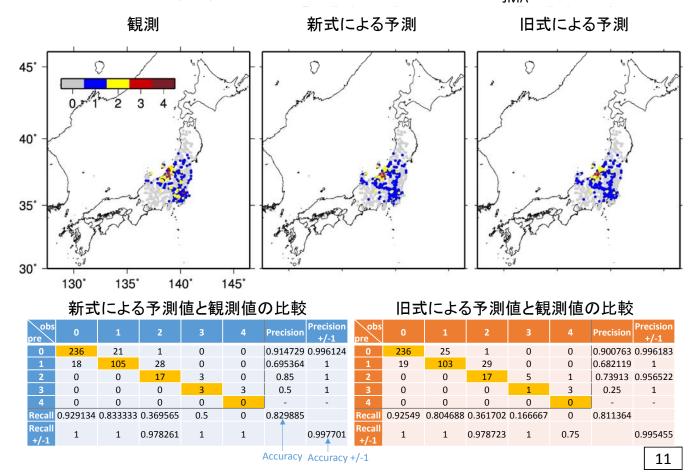
0.690476

0.666667

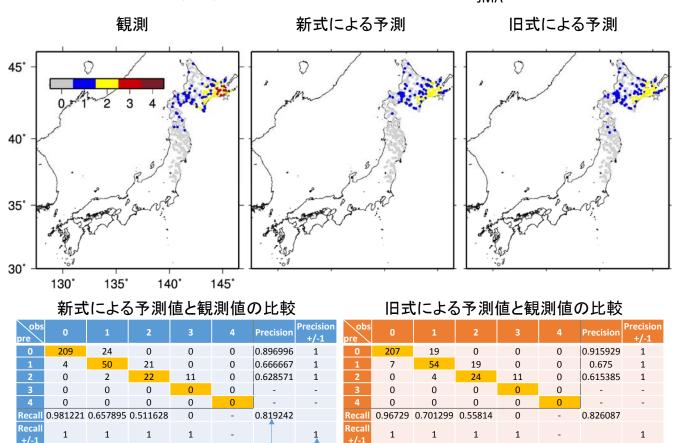
0.849505

0

2004/10/23 17:56 新潟県中越地震(M_{JMA}6.8)

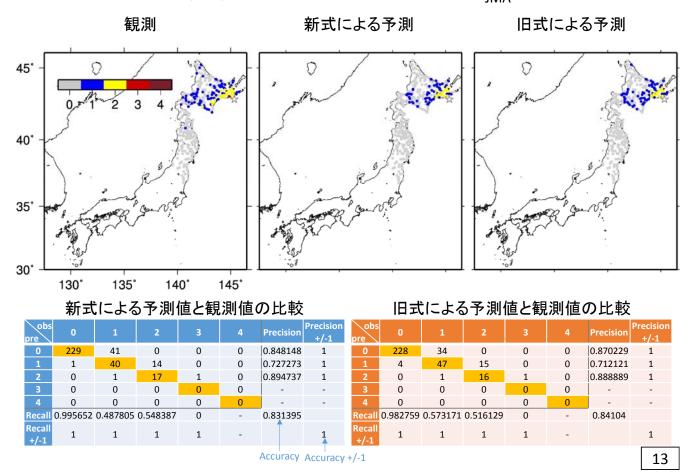


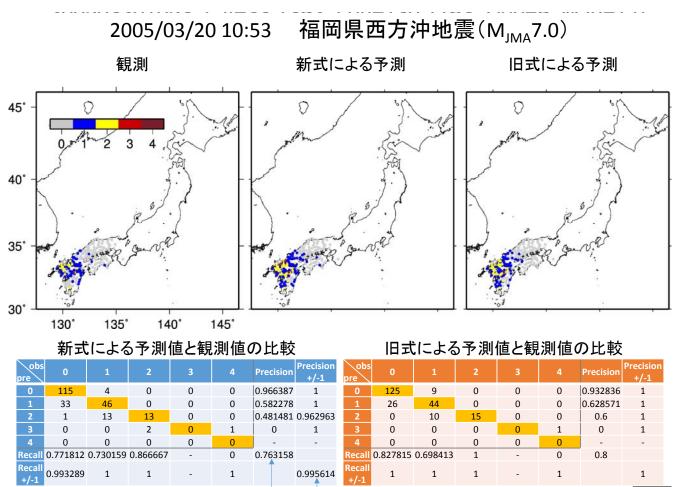
2004/11/29 03:32 釧路沖の地震(M_{JMA}7.1)



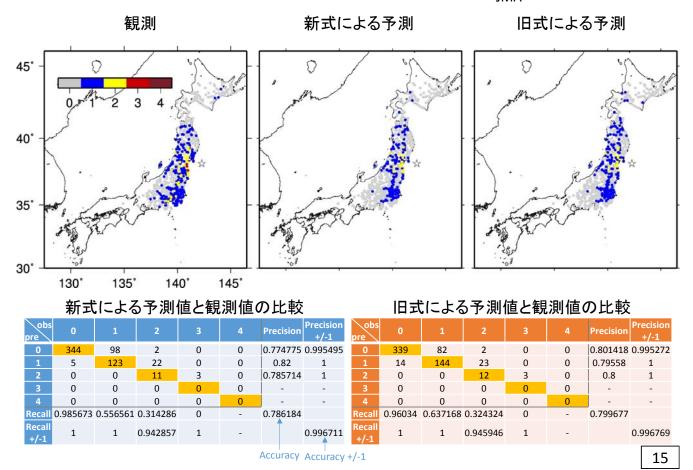
Accuracy Accuracy +/-1

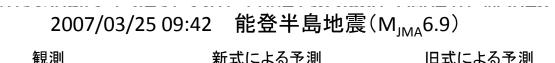
2004/12/06 23:15 釧路沖の地震(M_{JMA}6.9)

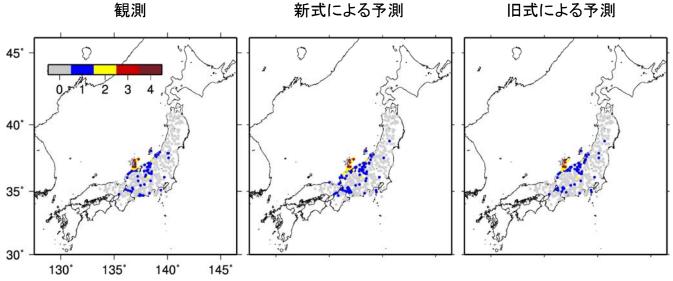




2005/08/16 11:46 宮城県沖の地震(M_{JMA}7.2)



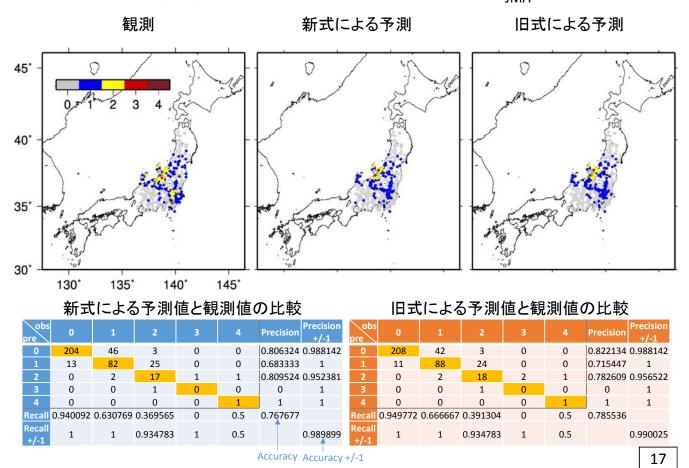


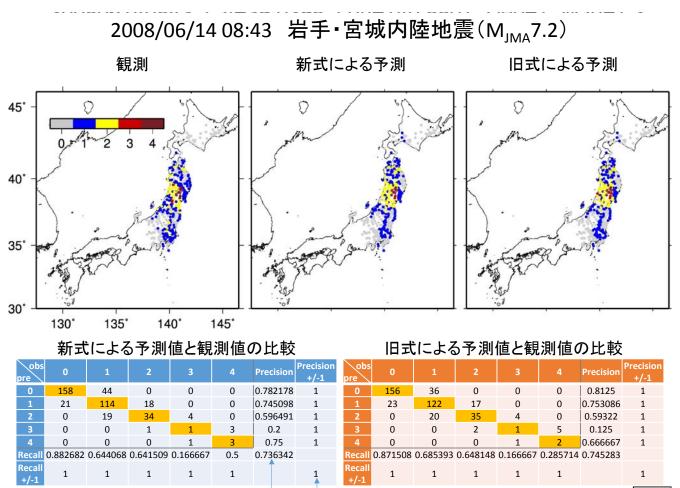


新式による予測値と観測値の比較 旧式による予測値と観測値の比較 12 0.956989 13 0 0 0.956081 0.605634 0 0.692308 0.923077 1 0 2 0.666667 0 0 0.5 0 0 Recall 0.908163 0.741379 0.910569 0.9 0 0.962585 0.762712 0.6 0 0.75 0.997283 0.5 0.99458

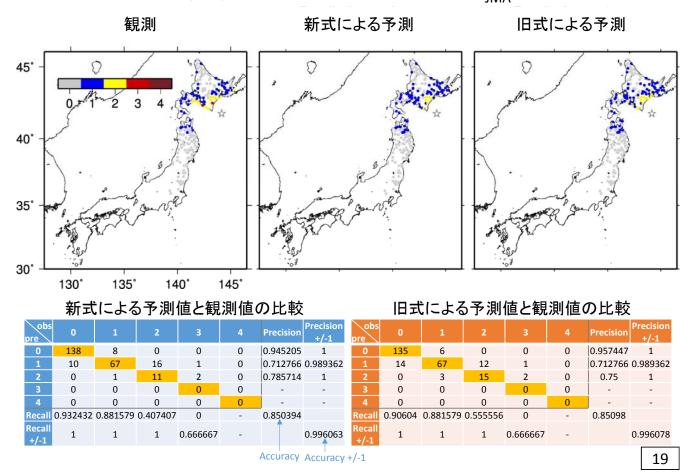
Accuracy Accuracy +/-1

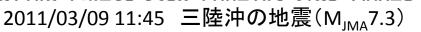
2007/07/16 10:13 新潟県中越沖地震(M_{JMA}6.8)

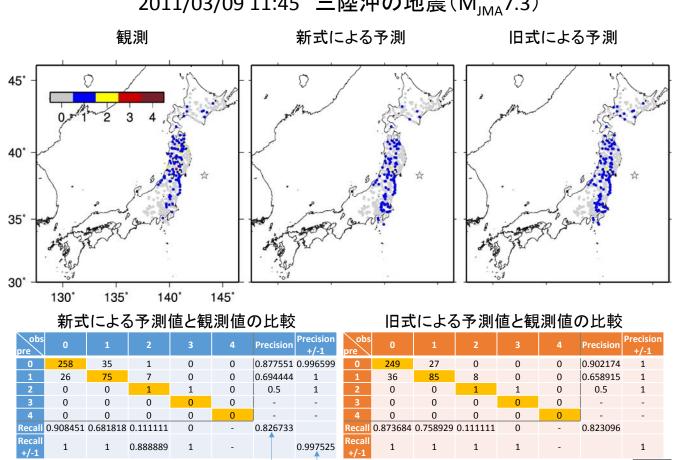




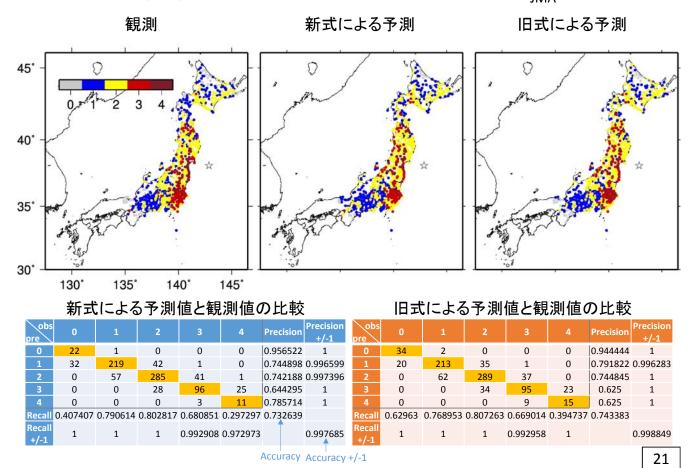
2008/09/11 09:21 十勝沖の地震(M_{JMA}7.1)



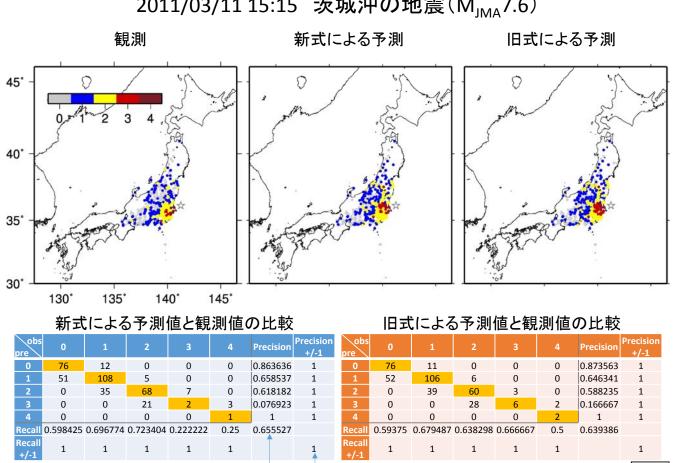




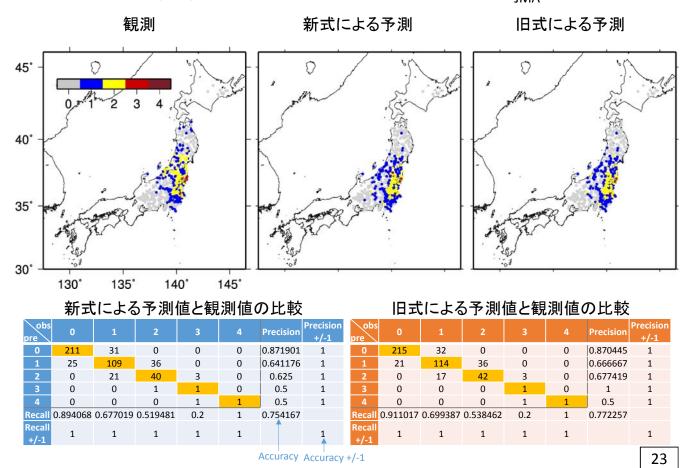
2011/03/11 14:46 東北地方太平洋沖地震(M_{JMA}8.4)



2011/03/11 15:15 茨城沖の地震(M_{JMA}7.6)



2011/04/11 17:16 福島県浜通りの地震(M_{JMA}7.0)



2012/12/07 17:18 三陸沖の地震(M_{JMA}7.3)

